

外来担当医表

病院広報誌 秋号 No.19

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	山田 公文	市原 金森	松本 山口	稲田 金森	市原 稲田	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1,3院長 第2,4,5岡庭 第4太田
	小児科	長江 下窪	長江 下窪	長江 下窪	長江	長江 下窪	下窪 第2,4,5長江
	検査		腹部エコー野田 胃カメラ山田		胃カメラ 腹部エコー 松本	頸動脈エコー	胃カメラ (第2・4) 山田
午後 14:00~16:00	内科	市原	山田	浅井	森田	松本	
	整形外科 外科	院長		岡庭		岡庭	
	小児科	長江 下窪	下窪	予防接種 乳児健診	長江	下窪	
	検査	大腸ファイバー 山田・松本 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー		心エコー 市原	
夕方 16:00~16:30	小児科	予防接種	予防接種			予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1,3,5野口 第2,4足立和		市原 八木		松本 第1,3,5足立百 第2,4杉山	
	整形外科 外科	岡庭 (院長)		柿沼		岡庭 太田	
	小児科	長江		下窪 ※		長江	

※毎週水曜日(16:30~18:30)夜尿症・肥満専門外来:長江医師(予約制)

周辺地図



瀬戸市コミュニティバス時刻表

中心市街地線 南山町乗り場		
	尾張瀬戸駅→中水野	中水野→尾張瀬戸駅
1	7:45	8:31
2	9:22	9:56
3	10:47	11:41
4	12:27	13:41
5	14:27	15:01
6	15:55	16:31
7	17:25	18:06

<職員募集> 看護師・准看護師募集中 担当 大塚・菊池まで



笑顔

病院広報誌 秋号 No.19

平成22年10月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人 青山病院

瀬戸市南山町1-53

TEL (0561) 82-1118 小児予約専用(0561) 82-1822
内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、[血液透析センター](#)

<http://www.seto-aoyama.jp>

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

内科医師 松本 幸成 ~肝臓は大丈夫?~

人間ドックの全国集計(日本人間ドック学会、平成21年度調査)では、異常項目としては高コレステロールが26.5%と最も高く、次いで肥満(26.3%)、肝機能異常が(25.8%)となり、以下、食道・胃・十二指腸潰瘍(20.2%)、耐糖能異常(18.5%)、高血圧(18.3%)、高中性脂肪(14.0%)と続き、いずれも高い数値を示しています。

肝機能異常が指摘された場合には、ウイルス性肝炎、アルコール性肝障害、脂肪肝などの可能性があり、それぞれがオーバーラップしていることもあります。最近ではウイルス性肝炎(B型もC型も)は激減しており、アルコール性肝障害も減少の傾向にありますが、一方で肥満、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病に関連した栄養過多による脂肪肝が増加しています。

脂肪肝の原因として、アルコール多飲による方もいるのですが、アルコールを飲まないのに健診の肝機能異常にひっかかる人≡NAFLD(非アルコール性脂肪性肝疾患)の方が増えています。アルコールを飲まないのに肝臓に脂肪が沈着する理由は、過食によるカロリーオーバー(肥満)や糖尿病による代謝異常です。メタリックシンドロームの肝病変と考えられます。またNAFLDのなかには、ウイルス性肝炎と同じように、炎症、線維化を進展させ、肝細胞癌の発生母地となる肝硬変まで進行する可能性のあるNAS H(非アルコール性脂肪性肝炎)という病態が含



まれています。脂肪肝は自覚症状が少なく、健診の血液検査などで偶然、肝機能異常でみつけるのがほとんどです。脂肪肝を治すにはメタリックシンドロームの肝病変といった観点からも原因となる疾患を治療していくことが重要となります。肥満のある人は体重をコントロールするように、食事療法や運動療法に努めていただく必要があり、糖尿病、高脂血症に対しても同様に、内服加療や食事療法、運動療法が必要となります。また、飲酒が原因でない場合も過度の飲酒は避ける必要があります。今後、健診などで肝機能異常が指摘された際には、「最近アルコールを飲みすぎていたからしょうがないわ。」とか、逆に「アルコールは飲まないから少しくらいはいいかな。」と考えずに一度、受診していただき、まずは、ウイルスチェック、腹部エコーを考えてみてはいかがでしょうか。

私は医事課（医療事務員）です 医事課主任 大橋則人

医事課（医療事務員）とは聞き慣れない言葉かもしれませんが、正面玄関の受付・会計の事務員といえば分かりやすいかもしれません。しかし医療事務の仕事は、受付・会計だけではなく、カルテ（診療録）の作成と管理、外来や病棟での診療費の計算（入力）、毎月、健康保険（社会保険・国民健康保険）に患者様一人一人の診療費を集計した請求書を作成し提出するなどのさまざまな業務を行っています。これらの業務に当院医事課では私を含めた11名であっています。

患者様は、内科・外科・小児科それぞれ目的の診療科に受診されますが、医事課はそれらすべての患者様の受付と会計を行っています。しかし私は医療事務員とは、単に受付と会計を行うのではなく、患者様をお迎え、お送りする病院の玄関であると思っています。私たち医療事務員は医師や看護師とは違い、直接皆様の病気に携わる事は出来ませんが、病気や怪我で来院された患者様が気持ちよく受診され、帰宅できるように常に心がけています。病気の治療以外のことでしたら、皆さまと一緒に話しかけることができますので、受診の際の分からない事、困った事や気になる事がありましたら、お気軽にご相談ください。

医療事務員として大切な事は、診療費の計算に必要な知識と技術を身につける事と、人の痛みがわかり、人間性（社会人として、医療人としての心得）を高めていく努力ができる事であると思っています。この能力を向上させる事が、患者様対応の向上につながると考えて、私自身、そして医事課員全員で今後も日々努力していきたいと思っています。

8月15日療養病棟にて夏祭りが開催されました。

夏祭りでは水風船、ゲーム、かき氷を楽しまれ、記念撮影も行いました。入院患者さまとご家族の方、合わせて60名の方が参加されました。この日だけは食事制限のある患者さまもかき氷を堪能していました。



骨密度ってなあに？ ～骨密度検査を受けませんか～

骨密度という言葉を知っていますか？骨塩定量またはBMDとも言われるこの言葉は「骨を構成するカルシウムなどのミネラル成分がどのくらい詰まっているかを表すもの」です。言いかえると「骨がどのくらい健康か」ということです。この骨密度が低下すると骨がもろくなって骨折しやすくなります。

ではなぜ骨の健康がなぜ大切かというと、日本では人口の高齢化に伴い増加が予想される疾患として骨粗鬆症がありますが、その骨粗鬆症による大腿骨頸部骨折は「寝たきり」になる原因として注目されています。また、「寝たきり」になると認知症の有病率も高くなり、心身ともに不健康な状態に陥ってしまいます。このことからまず骨折をしないための努力が必要になってきます。

骨折を未然に防ぐための手段の一つとして自分の骨の状態を知ることがあげられます。その方法として当院ではDXA法による骨密度検査を行っています。骨密度の測定には超音波を用いるものなどの簡易的な方法もありますが、当院ではより精度の高いDXA法という2種類の微量の放射線を当て測定する方法で検査をしています。患者様にベッドに横になっていただき4～5分かけて測定します。骨密度の測定部位としては腰椎（腰）、大腿骨頸部（脚の付け根）、橈骨（腕の親指側の骨）、第二中手骨（掌の骨）、踵骨（かかとの骨）があげられます。当院では骨粗鬆症の診断にも用いられる腰椎と大腿骨頸部で検査をしています。腰椎では圧迫骨折、大腿骨頸部では頸部骨折の危険性の判断にも用いられます。

骨折のリスクが高いのは、高齢、女性、低骨密度、喫煙、過度の飲酒、ステロイドの使用、骨折の家族歴がある方、運動をしない方です。たとえば閉経をむかえた女性は同年代の男性の4倍骨折しています。骨の健康が気になる方は骨密度を測定してみませんか？ 高齢の方だけでなく、40代（女性では閉経前）で一度検査をしておくことで将来骨の状態が比較しやすく検査の信頼度が高まります。また検査を受けると詳しく書かれた検査結果がもらえますが分からないことや、質問がある方はお気軽に放射線科にお尋ねください。

放射線科 加藤晋也